



R7健康経営アンケート結果報告 ①

アブゼンティーイズム（平均欠勤日数）



年間一人当たりの病気による平均欠勤日数
※数値が大きい方が悪い状態を表す

◆アブゼンティーイズムとは

心身の不調によって会社を休む状態



プレゼンティーイズム（労働生産性低下率）



過去4週間の病気やケガによる労働生産性の低下率
※0%に近い方が良い状態を表す

◆プレゼンティーイズムとは

心身の不調によって、業務効率が低下している状態
心身の健康問題を抱えながら仕事を行っている状態



R2年度より健康経営に取り組み、毎年アンケート調査を実施してきました。

その結果、**アブゼンティーイズム**と**プレゼンティーイズム**の数値は概ね横ばいで推移しています。

※R2年度は回答者数が少ないため、分析対象から除外しています。

健康経営の継続的な取り組みにより、一定の成果は確認されつつあるものの、従業員の高齢化や季節要因による課題も依然として存在し、全体的な数値改善には至っていない状況です。

今後は、数値改善を図るため、必要な施策を検討・実施してまいります。



R7健康経営アンケート結果報告 ②

① 経営者の想いの浸透

※「とてもそう思う」「そう思う」の回答者の割合、数字が大きい方が良い状態を表す

	今回	前回	前々回
あなたの会社は、私たち従業員を大切にしていると思いますか？	70%	55%	
あなたの会社の経営者は、従業員の健康づくりに関して、熱心だと思いますか？	80%	70%	68%
あなたの勤務先では、健康づくりを目的とした情報提供や研修機会などがありますか？（注）	100%	90%	79%
そのような勤務先の取り組みを活用して、あなたも健康になれると思いますか？	55%	40%	42%
自社の健康経営施策に対して満足していますか？ ※「満足」「まあ満足」の回答者の割合	90%	65%	

※注：「十分にある」「あるが十分とは言えない」の回答者の割合

② 従業員の健康意識・行動

R7年度のアンケート結果より

経営者の健康経営に対する想いが
社内に浸透していることが確認されました。



一方で、従業員の健康意識・行動に
関しては、

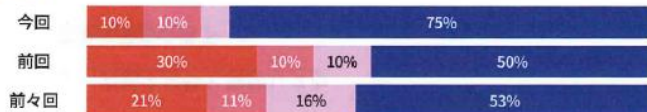
運動習慣および適正飲酒の分野において、
依然として改善の余地があり、
継続的な支援と啓発が課題となっております。



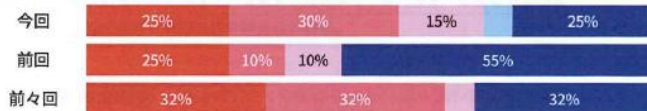
飲み物



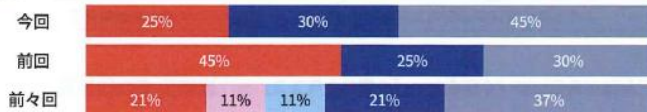
食べ物



運動



喫煙



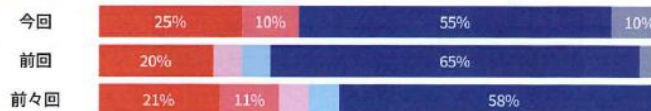
心の健康



睡眠



適正飲酒



無関心期 6か月以内に健康づくりを始める意思なし
関心期 6か月以内に健康づくりを始めた
準備期 1か月以内に健康づくりを始めた
行動期 6か月以内に健康づくりを始めている
維持期 6か月以上前健康づくりを始めている

*「喫煙」「適正飲酒」の非該当は、グレーで表示。

喫煙の非該当は「吸ったことがない」を選択した回答者、適正飲酒の非該当は「もともと飲まない（飲めない）」を選択した回答者